

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）					
地区名	堂根沢					
事業箇所	豊田市岩神町 ^{やがみちようちない} 地内					
事業のあらまし	堂根沢は豊田市岩神町に位置し、保全対象として要配慮者利用施設2箇所（病院、老人ホーム）、人家13戸、警察署、公民館及び市道足を抱える土石流危険渓流である。 土石流の危険性の高い渓流であり、人命などを守るため、土石流対策施設の整備を推進する。					
事業目標	【達成（主要）目標】 ・要配慮者利用施設2箇所（病院、老人ホーム）、人家13戸、警察署、公民館及び市道を土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・なし					
計画変更の推移		事業採択時 (2011年度)	再評価時(1回目) (2016年度)	再評価時(2回目) (2021年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2011年度～ 2018年度	2011年度～ 2022年度	2011年度～ 2026年度	貴重種に配慮	
	事業費(億円)	3.2	3.2	3.4	精査によるもの	
	経費内訳	工事費	2.6	2.6	2.4	精査によるもの
		用補費	0.5	0.5	0.5	
		その他	0.1	0.1	0.5	精査によるもの
事業内容	砂防堰堤工2基 渓流保全工60m	砂防堰堤工2基 渓流保全工60m	砂防堰堤工2基 渓流保全工60m			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・保全対象を土石流から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・なし				
	判定	B A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。				
		【理由】 事業着手から必要性について変化はないため				

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>←</td><td>→</td><td></td><td></td><td></td><td>←</td><td>→</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>・堰堤工 ・溪流保全工</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>←</td><td>→</td><td>←</td><td>→</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.5</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3.2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.7</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.5</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td>3.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率 (%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率 (%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰堤工 (基)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>溪流保全工 延長 (m)</td> <td>60</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.2</td> <td>0.7</td> <td>22</td> <td>3.4</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>2.6</td> <td>0.1</td> <td>4</td> <td>2.4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0.2</td> <td>40</td> <td>0.5</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.1</td> <td>0.4</td> <td>400</td> <td>0.5</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 ・なし</p>			2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種 区分	調査・設計	←											→						用地補償							←	→				←	→					工事																		・堰堤工 ・溪流保全工													←	→	←	→		事業費 (億円)	前回計画			0.2					2.5				0.5					3.2	実績			0.2					0.5									0.7	今回計画			0.2					0.5					2.5			0.2	3.4		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率 (%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率 (%) 【②÷③】	堰堤工 (基)	2	0	0	2	0	溪流保全工 延長 (m)	60	0	0	60	0	事業費(億円)	3.2	0.7	22	3.4	21	工事費	2.6	0.1	4	2.4	4	用補費	0.5	0.2	40	0.5	40	その他	0.1	0.4	400	0.5	80
			2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																																																																																																																																																	
	工種 区分	調査・設計	←											→																																																																																																																																																																																						
		用地補償							←	→				←	→																																																																																																																																																																																					
		工事																																																																																																																																																																																																		
		・堰堤工 ・溪流保全工													←	→	←	→																																																																																																																																																																																		
	事業費 (億円)	前回計画			0.2					2.5				0.5					3.2																																																																																																																																																																																	
		実績			0.2					0.5									0.7																																																																																																																																																																																	
		今回計画			0.2					0.5					2.5			0.2	3.4																																																																																																																																																																																	
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																																															
計画 【①】		実績 【②】	達成率 (%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率 (%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																															
堰堤工 (基)	2	0	0	2	0																																																																																																																																																																																															
溪流保全工 延長 (m)	60	0	0	60	0																																																																																																																																																																																															
事業費(億円)	3.2	0.7	22	3.4	21																																																																																																																																																																																															
工事費	2.6	0.1	4	2.4	4																																																																																																																																																																																															
用補費	0.5	0.2	40	0.5	40																																																																																																																																																																																															
その他	0.1	0.4	400	0.5	80																																																																																																																																																																																															
2) 未着手又は長期化の理由	・溪流内に天然記念物であるヒメハルゼミが確認され、これに配慮した計画及び工事方法が必要となり、日時を要した。																																																																																																																																																																																																			
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 ・貴重種への配慮</p> <p>【今後の見込み】 ・天然記念物ヒメハルゼミに配慮した計画及び工事方法を決定することができ、問題の解決は見込まれている。</p>																																																																																																																																																																																																			
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 今後、貴重種に配慮し工事を進めることにより、計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																																																																			
III 対応方針																																																																																																																																																																																																				
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。																																																																																																																																																																																																			
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																																																																																																																																				

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。